

2020年度自己評価公表

聖隷こども園こうのとり豊田 教育・保育理念

キリスト教の精神を基本理念とし、児童福祉法・児童憲章にのっとり、健康で安全・安心な乳幼児の保育・教育を目指します。

- *愛されて、愛する心を知り、お互いが大切な存在であることを知る。
- *一人ひとりの違いに気付き、お互いを認め合いながら共に主体的に生活する。
- *自己発揮できる環境の中で創造性を育てる。
- *在園・地域の子育て家庭が心豊かな環境で子育てができるように支援する。

2020年度の重点目標

・教育・保育の質の向上への取り組みとして、乳児クラスではゆるやかな育児担当制を継続し、自分の生理的リズム、発達や行為のテンポに応じて見通しを持ち、主体的に生活できるよう援助する。また、幼児クラスにおいても、主体的に遊びや生活を行えるような保育・教育を展開していく。

・成長や発達、興味や関心を子どもの姿をよりとらえ、園内研修等遊びの環境を工夫しながら保育実践を行っていく。

評価項目別の達成および課題状況項目	自己評価・課題
第2章 「ねらい」及び「内容」 1. 乳児保育に関わるねらい及び内容 2. 1歳以上3歳未満児の保育に関わるねらい及び内容 3. 保育の実践に関わる配慮事項（乳児・1歳以上3歳未満児） 4. 3歳以上の保育に関わるねらい及び内容	身体的発達に関する視点や、社会的発達に関する視点などを振り返る中で、子ども同士の関わりや、保育者の子どもへの言葉かけ、人と人とのかかわりの重要性を理解して保育を行っている。 5つの保育内容がある中で、「表現」の分野での課題が挙げられた。子どもたちが主体的に遊びを見つけて、じっくりと楽しむことができるような保育に取り組んでいるが、表現の分野での働きかけが十分ではない。各クラスで子どもたちの興味・関心に合わせ、主体的に遊びを選んで楽しむような環境作りを工夫していきたい。

保育者のための自己評価チェックリスト

～保育者の専門性の向上と園内研修の充実のために～による自己評価より